

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	生涯学習課担当課長 瀬谷 公重	
教育-45	吉屋信子記念館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生涯学習課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えとともに、市民の文化教養の向上を図るため。
効果	生涯学習施設としての市民等の学習の場として活用する。 吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

吉屋信子記念館の適切な維持管理を行うとともに、施設貸出業務を行った。
------------------------------------

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)		
01	吉屋信子記念館維持管理事務	光熱水費、消耗品費等	進行管理(率)	97 / 100 1,393 / 1,438		100 3,925	96.9%	
02	吉屋信子記念館施設貸出事務	管理補助業務委託料	利用者満足度調査の実施回数(回)	0 / 1 92 / 489		1 503	0.0%	
03	吉屋信子記念館一般公開事務	管理補助業務委託料	利用者満足度調査の実施回数(回)	0 / 0 0 / 0		1 933	18.8%	
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	/				
			地方債	/				
			その他特定財源	49 / 201		201		
			一般財源	1436 / 1726		5,160		
			事業費の合計(千円)	1,485 / 1,927		5,361		
			人件費(千円)		6,070	6,279		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	0.8	0.8			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.1			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	吉屋信子記念館維持管理事務	適切に維持管理を図るため、庭園管理、修繕等を行った。	貴重な文化財である邸宅、庭園の維持管理に努めている。	老朽化が進み、修繕が必要な箇所等、維持管理に係る経費が高額となっている。
02	吉屋信子記念館施設貸出事務	利用者満足度調査の方法について検討した。	貴重な文化財である邸宅を市民の学習の場として提供し、市民の文化教養の向上に努めている。	調査方法を早急に決定し、来館者の満足度や課題等の把握に努める。
03	吉屋信子記念館一般公開事務	新型コロナウイルス感染症対策のため未実施。	令和3年度は、事業未実施のため、具体的な寄与につながらなかった。	一般公開の再開に向けて、来館者の事前予約、人数制限等の導入する。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
協働	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 鎌倉シルバー人材センター

### (3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
施設活用の観点からは、現在行っている貸出と一般公開以外の方法も検討していく必要がある。一方、施設の老朽化著しいことから、維持管理経費が増大している。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	【吉屋信子記念館維持管理事務】進行管理						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
適切な維持管理に努める。	目標値		100					
	実績値	49	97					
	達成率		97.0%					

指標(単位)	【吉屋信子記念館施設貸出事務】利用者満足度調査実施						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
施設の一般開放、貸出業務を行うにあたり、来館者の満足度を把握する。	目標値		1.0	1.0				
	実績値	0.0	0.0					
	達成率		0.0%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--